

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	17011	水道生活基盤整備事業	課名	上水道課 上水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	会計	11:水道公営企業会計
	基本施策	03:上下水道の充実	款	資1:資本的支出
	施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給	項目	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目	01:施設費	
事業予定期間		H 29 ~ H 32 年度	主な根拠法令要綱等 水道法	

② 目的・概要	対象	川崎町、住山町地区住民
	目的	川崎町北部地区、住山町西部地区の水量・水圧低下を解消するため、加圧ポンプ施設の機能強化を図り、安定した水道水の供給を図る。
概要	加圧ポンプの容量不足が発生し、施設の老朽化が著しい川崎加圧ポンプ場及び住山加圧ポンプ場について、隣地土地を取得し、新たに施設を建設する。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・実施設計 ・地質調査 ・用地測量 ・用地買収	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・改良工事(土木・建築)	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・改良工事(場内整備、機械・電気設備) ○住山地区加圧ポンプ施設 ・実施設計 ・地質調査	
	年度実績	○川崎地区加圧ポンプ施設整備 ・詳細設計業務委託 (鋼製配水池・ポンプ場の設計) ・地質調査業務委託 (ボーリング調査 1箇所) ・用地測量業務 (面積 1,348.49m ²) ・用地買収等 (面積 1,348.49m ²)			
事業費	計画額	事業費	42,000千円	110,000千円	125,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
予算額	事業費	事業費	20,930千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	事業費 ①	20,555千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費 ②	総人件費 ②	2,304千円		
		一般職員	2,304千円		
		所要人員	0.30		
		臨時職員等	0千円		
		総コスト(①+②)	22,859千円		
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	川崎地区加圧ポンプ施設改良工事整備率	計画値	15	100
			新たな加圧ポンプ施設を建設し水圧低下を解消する	実績値	15	
				単位	%	%
②	名称	川崎地区水圧低下ポイントの水圧	計画値		20以上	
		第4水源地区配水管調査に基づく水圧低下ポイントの水圧状況(水頭値)	実績値			
			単位		m	
③	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 川崎加圧ポンプ施設詳細設計業務委託、地質調査及び用地買収が年度内に完成し計画どおり実施できた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 川崎加圧ポンプ施設詳細設計等が完成したことにより、次年度以降に行う川崎加圧ポンプ施設建築工事や機械・電気設備工事の発注準備が出来た。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 川崎町北部地区において、今後、住宅開発等による給水需要の増加が見込まれる場合、水量・水圧不足が発生することが懸念される。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 給水需要の動向を観察し、必要となる水道管の増径改良工事等の検討を行なう。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 水量・水圧不足を解消し住民に対し水道水の安定供給が図れる。	
対応時期		給水需要が増加してきたとき	

【1次評価者】	上下水道部 上水道課 上水道工務グループリーダー 山内 光広
【最終評価者】	上下水道部 上水道課長 杉本 良則